

会長



クリスティアーネ・ベナー
Christiane Benner

ドイツ・IGメタル出身

1968年、ドイツ・アーヘン生まれ。1987年カール・シェンク社で職業訓練を開始、従業員代表委員に選出。1993年からは大学で社会学、法学、政治学を学び、1995年からは、アメリカの大学で学ぶ。特に労使関係やジェンダー平等に関するテーマに関心を持った。1997年にドイツ最大の産業別労働組合IGメタルに入局。2008年からはIT・電機産業分野の組織化を推進する中核的な役割を担った。その後、デジタル化・産業政策・気候変動対策などの分野において、政策形成・社会対話の第一線で活躍。2015年にはIGメタル副会長、2023年には同会長に就任し、初の女性会長として注目を集めた。

そして2025年11月、インダストリアル第4回世界大会において、世界5,000万人の労働者を代表する会長に選出された。産業構造の転換期において力強く包摂的な組織運営を進めるリーダーとして、国・地域を越えて大きな期待が寄せられている。

書記長

ノルウェー化学技術大学の工学修士課程終了後、ノルウェー経済大学で経済学・経営学修士課程を修了。2004年にはノルウェー防衛成人大学を受講。大学卒業後の1993年にLO（ノルウェー労働総同盟）勤労生活局に入局した。

LOには1995年まで勤務し、その後2016年までノルウェー合同労組で国際担当官として、すべての国際関係の調整を行った。2016年からは、インダストリアル書記次長として自動車、航空宇宙、造船・船舶解撤のプロジェクト、ホワイトカラー部会、およびサハラ以南アフリカ地域を担当し、インダストリオールの主要活動を支えてきた。

2021年に書記長に就任、今世界大会で再選される。地域・業種を超えた多様なリーダーたちの橋渡し役として活躍。現場感覚を忘れず、草の根の声に耳を傾けるリーダーとして高い評価を得ている。



アトレ・ホイエ
Atle Høie

ノルウェー・合同労組出身

書記次長



ケマル・ウズカン

Kemal Özkan

トルコ・石油・化学・ゴム労組出身

経済学・経営学修士号を持つエンジニア。80年代中ごろ、トルコが民主主義に復帰すると、高校・大学時代に政治・市民社会・労働組合活動を開始。その後、独立した民主的組合の結成・発展、特にオルグ・キャンペーンに活動家として関与する。1991年のトルコ進歩労働組合連合(DISK)再開後、石油・化学・ゴム労組に加わり活動した。2012年のインダストリアル・グローバルユニオン結成大会と2016年の第2回世界大会で、書記次長に選出された。主要多国籍企業におけるグローバル・地域労働組合ネットワークの設立や、グローバル枠組み協定の交渉と実施に積極的に関与し、さまざまな部門や地域で特定の企業別・テーマ別キャンペーンを主導している。勇猛果敢な活動家の家庭に生まれ育った労働組合活動家二世。今世界大会で書記次長に再選される。主に地域および鉱山・エネルギー部門、化学部門を担当。

書記次長

1998年、全日本金属産業労働組合協議会(金属労協/JCM)に入職。JCMでは国際局、政策局主任として、生産拠点の強化と持続可能な雇用の確保に関する産業政策や環境政策の調整・策定を担当。東南アジアで金属労働者全体の国際連帯を促進するという特定任務も与えられた。

2010年8月から国際金属労連(IMF)に赴任、2012年のインダストリアル結成まで造船・事務技術職労働者を担当した。その後、ICT電機・電子/造船・船舶解撤担当部長に任命される。

2021年第3回世界大会で書記次長に選出されたのち、今世界大会で再選される。主に、公正な移行、気候変動問題、仕事の未来、安全衛生など産業横断的な分野で活躍する一方、人事も兼任。



松崎 寛

Kan Matsuzaki

日本・JCM / 金属労協出身

書記次長



クリスティン・オリビエ

Christine Olivier

南アフリカ・NUMSA出身

アングコン・テクノロジーズ(現アイトロン社)の工場職人として職業人生をスタート。25年前に南アフリカ金属労組(NUMSA)に入り、その後、職場委員、支部長、地域副会長、地域会長を歴任した。2008年にNUMSAの副会長に選出され、その8年後国際及びジェンダー担当専従副会長となる。その間、ICEM(国際化学エネルギー鉱山一般労連)、インダストリアル、NUMSA、COSATU(南アフリカ労働組合連合)の女性委員会で活動を行ってきた。IMF(国際金属労連)執行委員、ICEM副会長、インダストリアル執行委員など、国際レベルで活躍してきた。インダストリアル女性委員会初代共同議長、自動車産業部会共同議長も務めた。

2021年第3回世界大会で書記次長に選出されたのち、今世界大会で再選される。主に女性、若者、LGBTI+を担当。